

平成 28 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	意志動力学（ウィルダイナミクス）の創成と推進
領域代表者	桜井 武（金沢大学・医学系・教授）
研究期間	平成 28 年度～平成 32 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、意欲・情動などの心的成熟・維持の仕組みについて、神経科学、教育心理学、スポーツ科学などからの包括的な理解を目指して、「モチベーション＝やる気」をエネルギーパワーとして捉える意志動力学の確立を目指すものであり、複合領域にふさわしい提案である。うつ、ひきこもり、無気力や依存症など、現代社会が直面する大きな問題を取り扱っており、治療標的に作動する医薬の創成、食・睡眠の適正化および運動習慣化を図るための教育支援プログラムなど、社会的にも一定の波及効果を及ぼすことが期待できる。</p> <p>研究組織については、「やる気・モチベーションの分子・神経基盤の解明」に集約された領域の達成目標に向けて、研究項目 A01、A02 において必要な機能を摘出する役割を担う体制が整備されているほか、総括班に設置される委員会に関しても明確な役割と細かな工夫が凝らされており、体制強化に向けて十分に議論されている。また、領域代表者は金沢大学において本研究領域が対象とする学問領域と関係が深い脳・肝インターフェースメディシン研究センター長を務めた経験もあり、十分なマネジメントが期待できる。</p> <p>一方で、環境・心的機能成熟のミッシングリンク探索は、領域にとって中心的課題であるにも関わらず、公募研究によるところが大きいいため、計画研究との連携を強化するなどの対策を検討すべきである。</p>